

製品名: LPAAT- γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13381**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	AGPAT3
別名	AGPAT3; 1-acyl-sn-glycerol-3-phosphate acyltransferase gamma; 1-acylglycerol-3-phosphate O-acyltransferase 3; 1-AGP acyltransferase 3; 1-AGPAT 3; Lysophosphatidic acid acyltransferase gamma; LPAAT-gamma
遺伝子 ID	56894.0
SwissProt ID	Q9NRZ7
免疫原	抗血清はヒト AGPAT3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

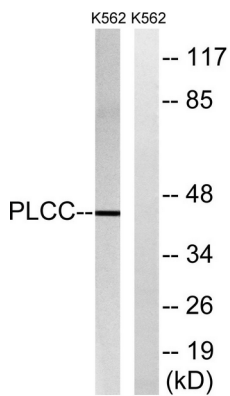
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、リゾホスファチジン酸をホスファチジン酸に変換するアシルトランスフェラーゼであり、これは de novo リン脂質生成経路の第二段階である。コードされるタンパク質は膜貫通タンパク質である可能性がある。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: アシル CoA + 1-アシル-sn-グリセロール 3-リン酸 = CoA + 1,2-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸。、ドメイン: HXXXXD モチーフはアシルトランスフェラーゼ活性に必須であり、グリセロール 3-リン酸のリン酸基の結合部位を構成する可能性がある。、機能: グリセロール骨格の sn-2 位にアシル基を組み込むことにより、リゾホスファチジン酸 (LPA) をホスファチジン酸に変換する。、経路: リン脂質代謝; CDP-ジアシルグリセロール合成; sn-グリセロール 3-リン酸からの CDP-ジアシルグリセロール: ステップ 2/3。、類似性: 1-アシル-sn-グリセロール 3-リン酸アシルトランスフェラーゼファミリーに属する。、

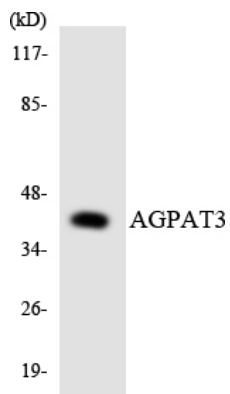
研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;エーテル脂質代謝;

画像データ



AGPAT3 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



AGPAT3 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。